

1 学校評価（生徒・保護者・教職員）アンケート結果

・別紙資料を参照しながら、以下をご覧ください。

2 学校評価（自己評価）

本校教育目標	「夢・愛・自立」 ～Dreams come true!～	
目指す生徒像	(1) 課題をもち、進んで学習する生徒	【知】
	(2) さわやかで、思いやりのある生徒	【徳】
	(3) 健康で、たくましく心身を鍛える生徒	【体】

(1) 全般を通して (※アンケート問1～2)

「楽しく学校に通っている」という肯定的な意見の割合が、昨年度同様に9割以上を占めている。本校の生徒は、思いやりがあり、受け手側に配慮した言動をとることができる。そのため学級の人間関係が安定しており、部活動や縦割りの活動が充実していることから先輩と後輩の関係も良好である。この伝統が受け継がれ、目指す生徒像のひとつである『さわやかで、思いやりのある生徒』の姿が具現化していると考えられる。これは、安心感に満ちた家庭や地域環境の中で子ども達が育まれていること、そして本校の教職員が一人一人の生徒を見取って指導し、生徒や保護者、地域との信頼関係を構築してきたことが要因として考えられる。

「夢や目標を持って生活している」と肯定的に答えた生徒の割合は約8割で、4月に実施した全国・県学力調査の結果と比較して増加している。否定的な回答の中には、「なりたい職業」や「進学したい高校」を決めることが『夢や目標をもつ』ことだと考えている生徒がいるので、働くことの意義や職業観を学びながら、自立するために必要な能力を身に付けることができるよう、キャリア教育を継続していく必要がある。

【学校運営協議員から】

○90%以上の生徒が楽しく通うことができ、生徒、保護者、先生共に感じていることが素晴らしい。

○50%以上の生徒が楽しく学校に通うことができているのは素晴らしいことだと思います。「あてはまる」の割合が生徒と保護者の間で差がありますが、生徒が何かあっても親に心配をかけたくないという心理があるのかと思います。「ややあてはまらない」の数字の差から、保護者は毎日子どもを心配してみている状況が分かります。

○楽しいと思うのが半数ぐらいというのは、中学生の時期だからかと思う。将来を考える年頃なので不安もあるのかと思う。

○部活動等で達成したい目標というような、小さな目標からでもいいのではないかと思います。そこから進学等の目標が生まれればいいのかと思います。

○明確な夢や目標がなくとも、自ら考え、実践していくことが大切だ。

○他校の事例で、中学2年生でも高校卒業後に進学する学校種（専門学校、短大、大学）やそれぞれの学校名について知らない生徒が多くて驚いた経験があります。こういった情報に触れる機会を計画的にもつことも大切だと思います。

○地域での職業体験があるのは良い。それ以外に各業種へ就職した方の話を聞く機会を設けるのも、夢や将来の目標につながるのではないかと。

(2) 学習面について (※アンケート問3~6)

本校の特徴として、「課題が終わるまで、なんとかやり続けるよう努力する」生徒が多く「正しくできているかどうかを確かめる」「内容を自分の知っている言葉で理解する」よう努めている。一方で「わからないことを先生に聞く」生徒が少ない。小グループの学習形態を活用しながら、質問しやすい授業の雰囲気づくりをする必要がある。昨年度から、本校ではキャリア教育の充実を掲げ、各学年で話し合い活動に力を入れており、今年度は、各教科の授業でも対話的な学習活動を意識して取り入れている。話し合っ解決する経験を通して、わからないことを質問することは互いの学びを深めるために大切であることを実感できる言葉かけをしていきたい。

「家庭学習時間」については、昨年度とほぼ同じ割合だが、中学生として『2時間以上学習している生徒が6割では少ない』と言わざるを得ない。保護者の方からは「生徒の自主性を尊重することも大切だが、課題を指定して学習させてほしい」という要望をいただいた。家庭学習は学力向上に一定の効果がある。しかし、多すぎる宿題は学習への動機付けや興味を阻害する可能性があるため、目的を明確にし、適切な形で取り入れていく必要がある。

読書習慣については昨年度より数値的には改善されているが、約半数の生徒には読書が習慣化されていない。生徒の姿から「読書が嫌いではないが、読みたい本がない」と考えていることがわかる。学区内に書店がなく家庭の蔵書数が少ない実態もあるので、図書支援員を活用し、学校図書館の充実を図りながら、家庭と連携して読書の習慣を定着させていきたい。

【学校運営協議員から】

- 家庭学習の時間が確保できない要因を個別に探り、きめ細やかに対応してほしい。
- 各家庭の環境にもよると思うが、家庭学習する際どのように進めたらよいか迷わないよう、その日の教科や範囲を指定するなどの工夫があると良いのではないかな。
- 6割の生徒が2時間以上家庭学習しているのは頑張っていると思う。質も上がるように指導をお願いしたい。
- 授業参観からは生徒がややおとなしい印象を受ける。もちろん静かに塾講することは大切だが、受講の後に自分の考えをしっかりと伝え合うことがより深い学びにつながると思う。
- 読書について、生徒と先生の認識の違いが見受けられる。これは生徒にとってやらされ感があるのでは？いかに自ら取り組むか仕組みを検討する余地があると思う。

(3) 礼儀・思いやりについて (※アンケート問7~9)

ほとんどの生徒は『あいさつをしている』と回答しているが、保護者の肯定回答率が生徒や教職員と比べて低い。その理由としては、「あいさつの声が小さくて聞こえない」「恥ずかしがって目を合わせてあいさつできない」などがあげられる。『相手に伝わる』あいさつをすることが課題と考える。本校の『気持ちの良いあいさつ』『礼儀正しい丁寧なあいさつ』は、日々の生活の中で生徒同士や、生徒から地域の方へ、また先輩の姿から後輩へと受け継がれてきたものである。生徒に自らの言動を振り返らせるとともに、大人も意識して見本を見せていきたい。

【学校運営協議員から】

- あいさつやきまりを守ること、よくできていると思います。
- 中学生になると、思春期ということもあるからなのか、小さい声でのあいさつになってしまうときがあるように思います。ただ、あいさつはできていると思います。

○地域の人にあいさつするのは恥ずかしいと感じている児童生徒は多いと感じる。地域全体のつながりが希薄化しているのが実感としてある。

○非常に船引南地区らしく素晴らしいと感じる。最近では保護者の送迎による登下校で、地域住民と接する機会が少ないが、実際に知らない人と接した場合はどんな状況なのだろうか。

○保護者、教職員が気持ちのよいあいさつをしていると思う児童生徒が増えるよう、周りでも指導していかなければならないと思う。

(4) 健康・運動について (※アンケート問 10~13)

健康面については、生徒、保護者ともに昨年度より肯定的回答が上昇しており、改善がみられる。給食の時間の様子からは、好き嫌いなく食べ、残菜も少ない実態がみられる。また、ごはんコンテストに全校生で参加し、マイ弁当の日を設定するなどして、食への関心が高める取組みを行っている。しかし、生徒と保護者の間に認識の差があることから、家庭では好きなおかずが偏ったり、お菓子が手が伸びたりする生徒がいると予想する。給食だよりや保健だよりをきっかけに、自身の健康と食生活への関心を高めることができるよう、情報提供を行い食育の充実を図りたい。運動面では、大半の生徒が体育の授業を楽しいと感じており、運動部の練習に目標をもって参加している。

メディアコントロールについては、昨年度よりさらに否定的な回答が増加しており、長時間の情報機器の利用に歯止めがかからない現状がある。今後の生活を考える上で情報活用能力を身に付けることは必須であるが、望ましい情報端末の利用の仕方を、生徒とともに考え、取り入れていかなければならない。また、心身に与える影響や情報モラルについて情報を発信し、家庭と連携していく必要がある。

【学校運営協議員から】

○規則正しい生活はほぼできていると思われる。

○バランスのよい食事は、運動量や成長に合わせ、不足する栄養素がないように食育を行い、自分で管理できるようになるのが理想だと思う。

○運動は大丈夫そうだが、メディアコントロールは保護者にも意識してもらわなければならない。

○メディアコントロールについては、とりわけ保護者の評価が低い。学校における取組についてこれまで以上に積極的に発信するとともに、家庭での取り組みの事例の共有をすることなども試みてはどうか。

○メディアコントロールは、根気強くこれから取り組んでいかないといけない課題だと思う。ただ「守りましょう」と言っているだけでは無理があると思うので、何かのきっかけで守れるような環境づくりが必要と思う。

(5) 学校運営等について (※アンケート問 14~20)

「生徒の様子をとらえ、努力を認めて生かす」、「いじめがない温かな学級づくりに努める」、「悩みや相談に対して親身に対応する」、「要望に対しての迅速に対応する」については、昨年度と同様に、肯定的な回答を多く得ることができた。また、今年度は保護者の「A」評価が上昇し、より肯定的に学校の指導に対する評価をしていただいた。なお、学校の指導に対するご意見も数件いただいている。真摯に受け止めて経緯を確認するとともに、学校の指導体制を振り返り、再発防止に向けた取組みを行っていく。

「教育環境整備」については、校舎施設の老朽化は否めないが、生徒の安全を最優先として迅速に修繕等の対応をしており、大きな事故なく教育活動を継続できている。

また、学校からの情報発信として、1日1回以上のホームページ更新を目指した。修学旅行や学習旅行、中体連の大会等については速報を掲載するようにし、生徒の活動の様子をより把握していただけるよう努めた。今後も、保護者、地域の方が知りたい中学校の情報を、お伝えできるホームページにしていきたい。また、今年もPTA会報を地域の回覧板に入れていただき、地域の方にも学校の様子を詳しく知っていただけるようにした。今後も開かれた学校づくりに努めていきたい。

【学校運営協議員から】

- いじめや事故がないよう目配りをお願いしたい。校舎の老朽化が目立ってきていると思う。
- いじめがないことは大変よいが、もし起きた場合には隠さず対応してもらいたい。
- 校舎の環境整備に関する意見の多さが気になった。
- ホームページによる発信の基本姿勢について、年度初めに保護者に周知することが大切だと思う。ともするとアップ数の多さが学校の熱心さと受け止められることがあるが、アップロードにはかなりの時間を要するので限界があると思う。まずは先生方が生徒と向き合う時間をしっかり確保することを優先してほしい。
- 学校と家庭が意見交換しやすい良い環境の学校だと思う。いじめや悩みについての項目に少しずれがあるので、お互いがきちんと納得できる話し合いの場があるとよいと思う。

(6) 総括

今年度から、学校評価アンケートを紙面とオンラインフォームから選択して回答する方法に変更した。生徒、保護者から多くの自由記述があり、率直な意見を集約することができた。次年度以降も継続していきたい。

教育目標の「夢・愛・自立」の中で「夢」と「自立」の部分に課題があることがわかる。「夢」については、自分で目標を決め、実現のための計画を立て確実に実行する経験を積み重ねることが大切である。キャリア教育の推進により自分を見つめ、「私はどうしたいのか」を考える学習活動を充実させるとともに、学ぶ意義を実感できる学校運営を展開していきたい。そして、「自立」し「なりたい自分」になるために、今後も自立心を育む指導を継続していきたい。自分の気持ちをコントロールし、自分のことを自分でする力、他者と折り合いをつけて関わっていく力を向上させていきたい。

次年度さらに、学校がチームとして機能し、生徒や保護者、地域の方々から信頼を寄せていただける学校運営を今後も行っていきたい。

【学校運営協議員から】

- 要望がたくさん出されたのはとても良いことだと思う。よりよい学校生活を自分たちの手で作ろうとする気風を、今後も大切に育てていただきたい。
- 生徒からは、ユニークな意見があって面白い。すべては叶えられないかもしれないが、実現できたらよい。保護者の意見は実際的で検討に値するものが多いと思う。
- 今後ますます児童生徒が少なくなる中で、地域との連携が非常に重要になってくると思う。
- 学校行事や教育環境整備など、できるだけ多くの地域の方々に参加していただき、地域全体で子ども達の学びや成長を支えていきたい。

<学校運営協議会の評価を受けて>

『夢』～目標をもって自ら学ぶ子どもを育むために～

- 夢や目標については、「なりたい自分」を具体的にイメージし、主体的に進路選択ができるようキャリア教育を推進していく。
- 家庭学習については、時間の多さよりも、帰宅後に学習する習慣化を図っていく必要がある。
- さまざまな体験活動を日常生活に生かすことができるよう振り返りを充実させる。

『愛』～さわやかで、思いやりのある子どもを育むために～

- 他者と有機的な関わりを構築するために、あいさつやコミュニケーションの大切さについて学校と家庭が連携して生徒に伝えることができるようにする。
- あいさつや礼儀については、子どもとともに教職員も学ぶ姿勢をもち、声のかけ方や子どもへの接し方に配慮していく。

『自立』～健康で、たくましくやりとげる子どもを育むために～

- 現在在籍する小・中学生は、震災前後に生まれており、一時的に避難したり、外遊びが十分できなかつたりして、影響を受けながら育ってきている。また、この3年間は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、他者との関わりが制限された背景がある。このことを踏まえたうえで、メディアの効果的な活用の仕方を、学校と家庭で連携して学んでいきたい。
- 肥満傾向児が増加傾向にあるので、体育の授業を柱に運動量を確保するとともに、小学校では業間体育活動にめあてをもって取り組んだり、中学校では運動部活動への参加を奨励したりして運動が好きな児童生徒を育てていきたい。